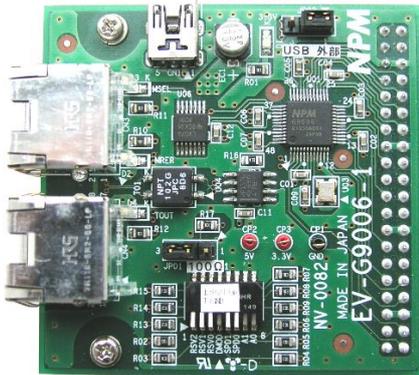


G9006 ユーザー評価基板

Motionnet 機能拡張 LSI



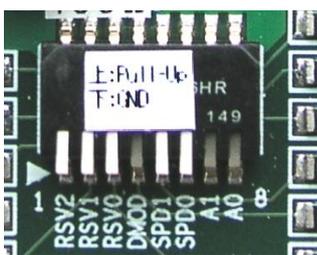
- ・既存の Motionnet システムに接続して動作確認が行えます。
- ・お客様が使い慣れた CPU をご用意ください。
- ・G9006 には 4 線式シリアルインターフェースで制御してください。
- ・4 線式シリアルインターフェースは 20MHz まで対応します。
- ・電源は基板上の USB コネクタ、もしくはお客様の CPU 基板から供給します。

【仕様】

Motionnet 制御	G9006 (NPM)
RS485	SN65HVD1176 (TI)
供給電圧	5V
基板サイズ	58mm×57mm (LAN コネクタ除く)

【スイッチ・ジャンパー】

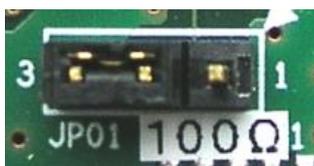
ディップスイッチ



対の外部端子への信号状態の設定を行います。

A0、A1	アドレス設定
SPD0、SPD1	Motionnet の通信レート
DMOD	アドレス設定の選択モード
RSV0、RSV1、RSV2	アドレス設定を端子で行う場合の RSV 値

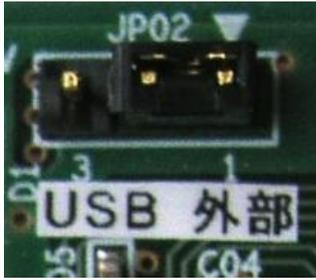
ジャンパー (JP01)



Motionnet 通信ラインへの終端抵抗を設定します。

- 3-2 : 終端抵抗なし
- 2-1 : 100Ω の終端抵抗を設置

ジャンパー (JP02)



電源供給の選択をします。

3-1：基板上の USB コネクタより 5V を供給

2-1：基板上のコネクタ(CN2)の 3 番、4 番端子より 5V を供給

【コネクタ】

次のような配置になっています。

CN2					
方向	信号名	ピン	ピン	信号名	方向
	未使用	1	2	未使用	
	5V(必要に応じて)	3	4	5V(必要に応じて)	
	GND	5	6	GND	
双方向	PORT6	7	8	PORT7	双方向
双方向	PORT4	9	10	PORT5	双方向
双方向	PORT2	11	12	PORT3	双方向
双方向	PORT0	13	14	PORT1	双方向
	GND	15	16	GND	
出力	MOSI	17	18	未使用	
	未使用	19	20	未使用	
出力	SCK	21	22	未使用	
	未使用	23	24	未使用	
	GND	25	26	GND	
出力	SS	27	28	未使用	
	未使用	29	30	未使用	
入力	MISO	31	32	INT	出力
		33	34	SHT1	
	GND	35	36	GND	出力
	未使用	37	38	SHT0	出力
	未使用	39	40	BCST	出力

以上